

オーディオ実験室収載

OPT ISO BOX の導入(17)(HP 収載)

—総括—

1. 始めに

前報(16)までの結果および fidata HFAS1-S10 の活用(35)と fidata HFAS1-S10 の活用(36)の結果を受けて総括を行い、OPT ISO BOX 3 台の使用箇所を決めます。

2. OPT ISO BOX の試聴結果

関連する LAN 関連機器の機能と処理音源を下記の表に示します。

LAN 関連機器の機能と処理音源

LAN 関連機器	機能	処理音源
ルーター	LAN の送受信・WiFi 送信	配信音源全般
スイッチングハブ	LAN の受信・中継分岐送信	配信音源全般
Sonica DAC	LAN の受信・DA 変換	Spotify Connect
	LAN の受信・DA 変換	ファイル音源
	LAN の受信・DA 変換	CD
fidata HFAS1-S10	LAN の受信・DAC への送り出し	Spotify Connect
	音源収納・DAC への送り出し	ファイル音源
	ドライブからの読み出し・DAC への送り出し	CD
PC	LAN の受信・DAC への送り出し	配信音源全般
DMR-UBZ1	LAN の受信・DAC への送り出し	BPODCH

OPT ISO BOX の適用箇所と処理音源を下記の表に示します。

OPT ISO BOX 適用箇所と処理音源

OPT ISO BOX 適用箇所	処理音源	アプリ
ルーター→スイッチングハブ	配信音源全般	
スイッチングハブ→PC→Sonica DAC	配信音源全般	PC フームウェア
スイッチングハブ→Sonica DAC	Spotify Connect	Spotify アプリ
スイッチングハブ→fidata HFAS1-S10→micro iDSD BL	Spotify Connect	Spotify アプリ
スイッチングハブ→DMR-UBZ1→Sonica DAC	BPODCH	DMR-UBZ1 フームウェア
fidata HFAS1-S10→Sonica DAC	fidata HFAS1-S10 収納ファイル音源	Sonica アプリ

USB-SSD→Sonica DAC	Sonica DAC 接続 USB-SSD 収納ファイル音源	Sonica アプリ
fidata HFAS1-UBX→fidata HFAS1-S10→Sonica DAC	fidata HFAS1-UBX ドライブ CD	Sonica アプリ

3. OPT ISO BOX の試聴結果のまとめ

OPT ISO BOX の適用箇所と音質評価を下記の表に示します。

OPT ISO BOX適用箇所と音質評価

OPT ISO BOX適用箇所	レポート	評価
ルーター→スイッチングハブ	OPT ISO BOXの導入(6)	++
スイッチングハブ→PC→Sonica DAC	OPT ISO BOXの導入(6)	+++
スイッチングハブ→Sonica DAC	OPT ISO BOXの導入(14)	+++
スイッチングハブ→fidata HFAS1-S10→micro iDSD BL	OPT ISO BOXの導入(15)	+++
スイッチングハブ→DMR-UBZ1→Sonica DAC	OPT ISO BOXの導入(16)	+++
fidata HFAS1-S10→Sonica DAC	fidataHFAS1-S10 の活用(35)	+++
USB-SSD→Sonica DAC	fidataHFAS1-S10 の活用(35)	対象外
fidata HFAS1-UBX→fidata HFAS1-S10→Sonica DAC	fidataHFAS1-S10 の活用(36)	+++

以上の結果から、ルーターからスイッチングハブ間以外は、すべて顕著な効果がありました。

ネットワークオーディオの機器の役割の定義は判然としないところがありますが、それぞれの機能を解釈しますと、以下のようになります。

スイッチングハブ→PC→Sonica DAC の PC では PC 自体ストリーマーには分類されませんが、LAN から受信して USB 送り出しの実質的にはストリーマー機能を有しています。

スイッチングハブ→Sonica DAC の Sonica DAC では、本来の DAC 機能に加えて、LAN DAC 機能があり、Spotify Connect では、LAN から受信し、実質的にストリーマー機能を果たしています。

スイッチングハブ→fidata HFAS1-S10→micro iDSD BL のfidata HFAS1-S10 では、本来のミュージックサーバーに加えて、LAN から受信して USB 送り出しの、実質的にストリーマーの働きをしています。

スイッチングハブ→DMR-UBZ1→Sonica DAC の DMR-UBZ1 では本来のレコーダー機能に加えて、LAN から受信して S/PDIF 送り出しの実質的にストリーマーの働きをしています。

fidata HFAS1-S10→Sonica DAC では、fidata HFAS1-S10 は、LAN 送り出しのミュー

ジックサーバーのような働きをしており、Sonica DAC は LAN DAC であり、fidata HFAS1-S10 から LAN 経由で受信するストリーマーの働きをしています。
fidata HFAS1-UBX→fidata HFAS1-S10→Sonica DAC では、fidata HFAS1-S10 は、USB 読み出しの LAN 送り出しのミュージックサーバーのような働きをしており、Sonica DAC は LAN DAC であり、fidata HFAS1-S10 から LAN 経由で受信するストリーマーの働きをしています。

以上の結果と音源の再生頻度および配線の便利性を考慮し、3 台の適用箇所を次のように設定しました。

1 台目は、すべての配信音源に関わるルーター→スイッチングハブ間とします。

2 台目は、多くの配信音源に関わるスイッチングハブ→PC 間とします。

3 台目は、fidata HFAS1-S10→Sonica DAC 間とし、fidata HFAS1-S10 収納音源や fidata HFAS1-UBX からの CD 再生に対応します。

Spotify Connect 再生のスイッチングハブ→fidata HFAS1-S10 間およびスイッチングハブ→Sonica DAC 間は、PC での再生も可能であり、再生頻度が少ないので、元の LAN iSilencer に戻します。

スイッチングハブ→DMR-UBZ1 間は、PC での再生も可能であり、再生頻度が少ないので元の LAN iSilencer に戻しますが、設置位置の関係から必要な場合は 1 台目の PC との接続と入れ替えます。

4. まとめ

以上に記載したような働きをしている LAN 接続の箇所で OPT ISO BOX の介在が有効であることが分り、3 台の適用箇所が決まりました。

以上